

甲状腺エコー

★**検査チェックシートに「甲状腺超音波」の項目があることを確認する**

①QR読み込み→「単独検査」を選択し、「甲状腺超音波」から読み込む

※属性転送方法については別紙参照

※**腹部の項目で甲状腺を検査してもレポートで画像は表示されない**ので、**必ず検査する臓器を選択して転送すること**

②以下本人から聴取し、内容をレポートの「検査コメント欄」に入力

- ・他機関などでの受診歴(何か指摘事項あれば詳細を聴取)
- ・既往歴。(現在通院なし・治療中・経過観察中など詳細聴取)

※経過観察中の場合は下記要確認

検査内容:「血液検査のみ」か「血液検査+エコー」

受診:受診期間・直近の受診日・次回受診予定日

※【甲状腺切除後】の場合

- ①その病名(癌か癌でない腫瘍か、バセドウ病や慢性甲状腺炎など)
- ②チラーヂンs内服の有無

③レポートの【STELLAR】で、前回判定がE判定(要精査)・C6判定(経過観察6か月後)の場合は、

下記項目を受診者から聴取し、レポートの「検査コメント」欄に入力する。

- ・精査内容についての受診の有無
- ・受診後、医師からどのように言われているか(診断名や今後の方針)
- ・経過観察をしているか(受診期間・直近の受診日・次回受診予定日・血液検査/エコー検査の有無)

④検査は左右どちらから検査しても良い。**必ずボディマークはつけること。**

【甲状腺】

鎖骨から顎下部まで前頸部全体をできるだけ広く観察する。

- ①甲状腺の同定(異所性甲状腺、片葉欠損、錐体葉など)
- ②甲状腺の大きさ(正常・萎縮・腫大)・形状(表面の凹凸不整の有無)
- ③内部エコーレベル:胸鎖乳突筋のエコーレベルを基準にして評価する
- ④結節・嚢胞の有無
- ⑤血流状態:ドプラ法による甲状腺の血流状態を評価

【副甲状腺】

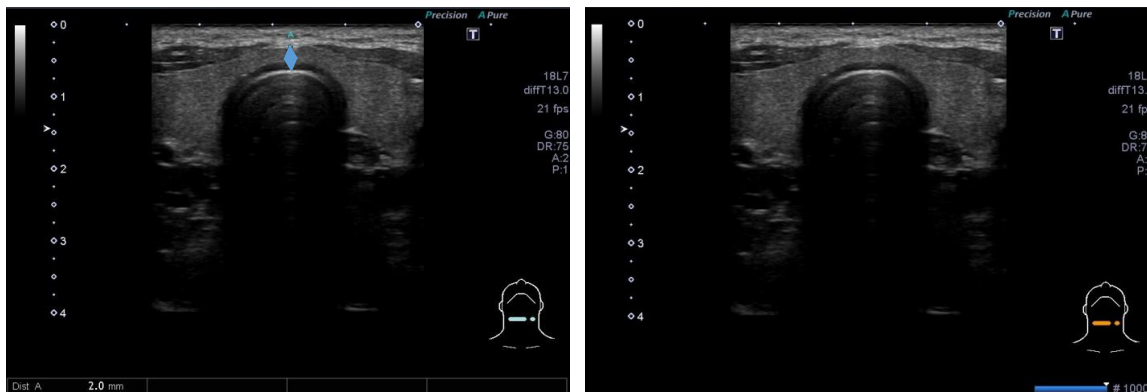
甲状腺背側を注意深く観察。

- ①腫大の有無
- ②腫大の場合、大きさの計測
- ③甲状腺周囲に腫瘍などの有無(頸部リンパ節など)

⑤検査と基本画像

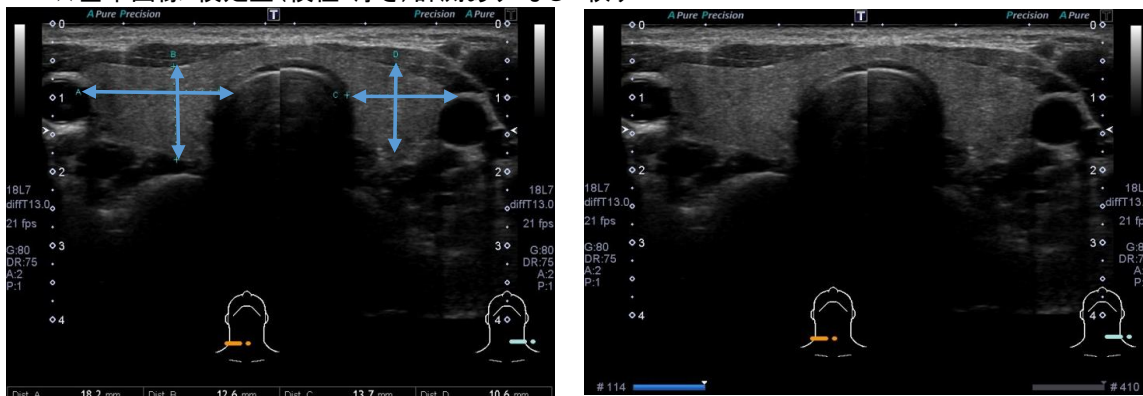
1.横走査で峡部の観察。

☆基本画像: 峡部厚計測ありと無し1枚ずつ ※計測は気管を入れないように注意する



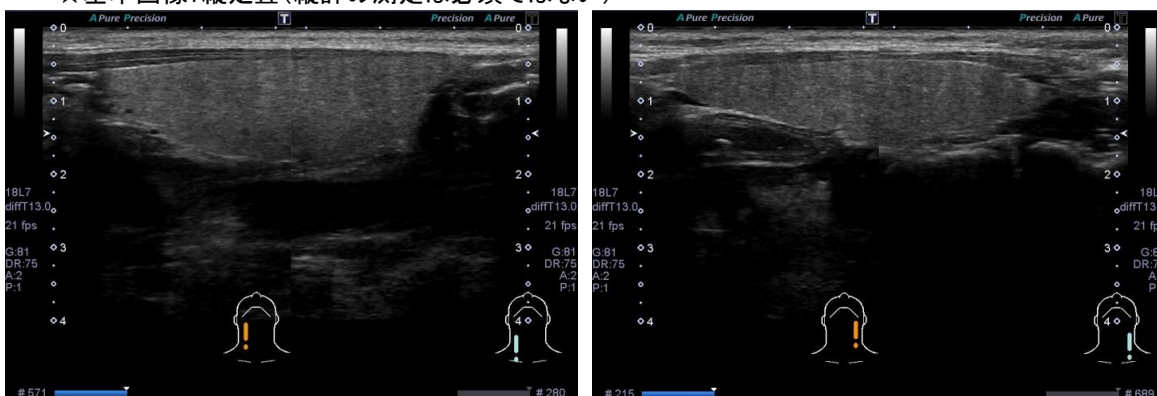
2.右葉・左葉の横断面の計測

☆基本画像: 横走査(横径・厚さ)計測あり・なし1枚ずつ



3.右葉・左葉の縦断面の描出

☆基本画像: 縦走査(縦計の測定は必須ではない)



4.右葉・左葉を横走査・縦走査で観察。

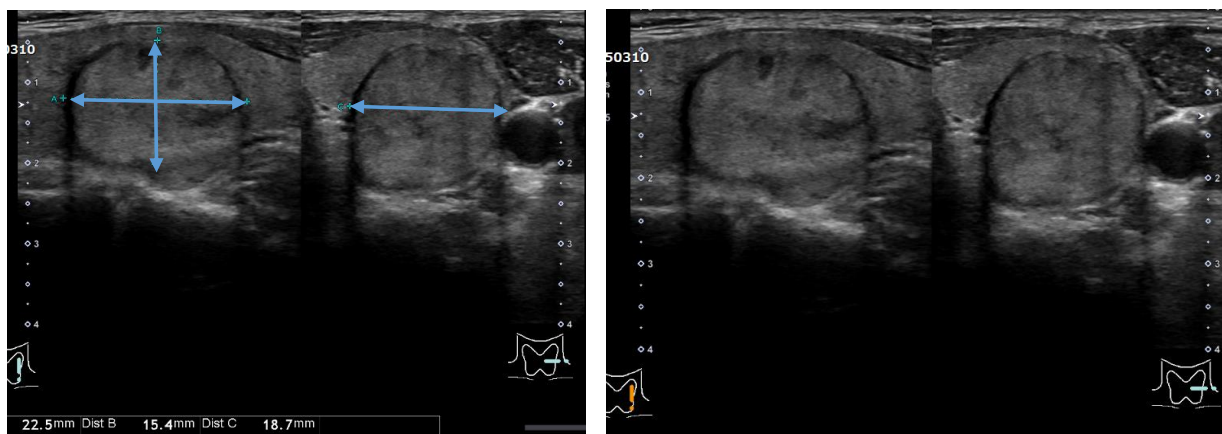
☆所見(計測あり・無し・拡大・血流評価・動画保存など)

5.びまん性病変を認めた場合、甲状腺内部の血流評価

※この場合、各葉全体が入るように、広めに関心領域(ROI)を設定する

◎所見 画像は、計測あり・なし両方保存する。

- ・峡部4mm以上(四捨五入)で腫大とする
- ・同一所見は3つ以上で多数とする。多数の場合、最大径のもののみ計測を行う。
多数がわかる箇所を撮影。
- ・3mm以上のものを所見としてとる。
(1~2mm以上のものが多数ある場合は、多数として撮影する)
- ・計測は3方向
嚢胞内結節は嚢胞の径と内部の結節の径を計測し、記録する。



⑥レポート入力

◎「所見なし」の場合

所見なしの場合はこちらのボタンを押す

The screenshot shows a form with a '所見' (Findings) section containing four empty input fields. Below this is a '判定' (Judgment) section with a '所見なし' (No findings) button circled in red, and a '実行クリア' (Execute Clear) button next to it.

◎「所見あり」の場合 ※「診断」「疑い」「判定」は読影医が使用する項目のため入力しないこと

・「部位」 右葉・左葉・両葉・峡部・副甲状腺

診断	疑い	部位	所見	大きさ	判定
右葉		左副甲状腺			
左葉		その他			
両葉					
峡部					
右副甲状腺					

・「所見」 ※腫瘍の場合は、フリー入力をするので、ここでは選択不要。

診断	疑い	部位	所見	大きさ	判定
内部粗雑			のう胞		腫大
石灰化			占拠性病変		内部不均一
辺縁不整			摘除		その他
血流増加			萎縮		所見なし

入力完了後

1	両葉 血流増加
2	
3	
4	

※腫瘍の場合は「所見フリー」に部位・所見・サイズを手入力する

右葉 のう胞性病変 0mm
左葉 充実性病変 0mm など

上記のように、腫瘍は「のう胞性」又は「充実性」で区別する。

【所見フリー】
左葉 充実性病変 23mm

★検査コメント欄に入力する内容

- ・前回受診歴 ※他機関で受診した内容は必須
- ・担当名
- ・前回判定がE、C6の場合、受診の有無と受診後の対応を確認し記載（STERRARで確認必須）
- ・経過観察をしている場合、受診期間・直近の受診日・次回受診予定日・血液検査/エコー検査の有無を確認